さくら坂保育園 2014年3月7日(金) 9:00 場所: 草津市青地町1248番地の4

日時:2014年2月27日(木)13:30-17:00

2014年3月7日(金)9:00-16:00

開園 6 年の新しい保育園。3 年前に裏山を子どもたちの自然体験の場として活用を始めました。卒園児のお じいさんがアドバイスくださり、裏山を間伐し、子どもたちが楽しめる自然豊かな森になっていきました。そ の毎日のように出かけている裏山でプログラムを実施しました。(対象:5歳児 計22名)

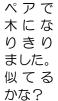
1 日目は講座、下見とプログラムづくり、2 日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一 講師 島川武治(しまっち)さん 部を紹介します。

落ち葉の違いが見えてきて、なんと 17 種類 も見つかりました。落ち葉でカルタ取りもし

幼児自然体験型環境学習にあたって・・・

- ・雨が降ったら、室内と決め付けていません か?雨だからこそ楽しめる、子どもたちが 活き活きする可能性もあります。木を揺ら せば葉っぱから雨粒がたっぷり降ってきま す。水滴をルーペで覗くとステキな世界が 見えます。水たまりは、最高の遊び場です。
- カッパがあれば、雨の中もへっちゃらです。 園にカッパを常備しておけば、いつでも出 掛けられます。















みーつけた!!

裏山にある枝で作ったトンネル。普段は通りすぎる遊び 場を活用しました。トンネルシアターとして、枝の隙間 から見えるものを当てるクイズを行いました。例題で、 うさぎの絵がチラチラと見えると、「うさぎ!」と声をあ げていました。本番では、子どもたちが画用紙に問題を 自然物でつくりました。「ひらがなは何?」「葉っぱに塗 られた色は?」「何枚の葉っぱが貼ってる?」「葉っぱで 作ったのは何の顔?」など工夫して問題を作りました。



いつものト ンネルに 「とんねる しあたー」 の文字。何 が始まるの かわくわく

トンネルから見える文字や絵。何が通るか見たく て見たくて、興奮気味の子どもたち。 自分たちで問題を作ったり、通ったり、そして答 えたりと、役割を交代していました。



トンネルの中を通っていたのは、アンパ ンマンでした! みんな分かったかな?



森の仲間に変身だ、とうっ!!

いつも「変身ベルト」の歌に合わせて踊っている子どもたち。森でも踊りました。そして、たぬき(茶色の葉っぱ)、きつね(枝)、かえる(緑の葉っぱ)、すずめ(木の実)のグループに分かれて、ベルトづくりを行いました。いろんな自然物があるように、友だちもいろんな仲間がいること、生き物の命への感謝などを話しました。

みんな踊る ぞ! 変身ベルト! とうっ!





変身ベルトをつくって、ハイポーズ。 すずめのポーズです。





さがしてみよう!集めてみよう!作ってみよう!

葉っぱに注目した子どもたち。色や形、大きさの違いを 見つけていきます。いろんな特徴に気づいたところで、 その葉っぱを使って生き物(タヌキ、キツネ、すずめ、 かえる)を作ります。葉っぱの多様性に気づいた子ども たち。最後は、葉っぱが土に還り、森の栄養となり、さ らに循環していくことを伝えています。





すずめ、カエル、それぞれの絵ができ たよ



葉かけった。 付けっかいではいる。 ではないではいる。 ではいまではいまれます。 では、ままれます。

プログラムを終えてのふりかえりから

- ・生き物の形態への子どもの発想が高まり、葉っぱの色を変えたり、部位によって葉っぱの貼り方を変えていた。
- ・企画した側の思いやメッセージ性、意識づけで、寒さの中2時間以上、集中して遊べるもの と思わなかった。子どものすごさ、自然のよさも感じた。
- 子どもたちの自然物を扱う工夫に驚いた。葉を貼り付けるだけでなく、切ったり、立体的に 捉えたり、様々な種類の木の実を使い分けたりしていた。